

大分県

1. 商品名等

商品名	未利用魚を活用したふりかけ『ふかちゃん』『かつおくん』	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
	水揚げされても、サイズが小さかったり、調理方法が分からないなどの原因で流通されず、ロスとなってしまう「未利用魚」を有効活用する取り組みで誕生した商品です。 スーパーの総菜などで注目されるようになった「ひじき」に、「未利用魚」とされる、新鮮だと臭味がない「ホシザメ」と、旨みの強い「ソウダガツオ」を活用した「ふりかけ」です。	

2. 学校紹介

学 校 名	大分県立佐伯豊南高等学校	電 話	0 9 7 2 - 2 2 - 2 3 6 1
住 所	大分県佐伯市大字鶴望 2 8 5 1 — 1	F A X	0 9 7 2 - 2 2 - 2 3 6 2
担 当 者	山下 智史		
U R L	https://kou.oita-ed.jp/saikihounan1/		
E-mail	yamashita-satoshi@oen.ed.jp		
本校は平成26年(2014)に佐伯豊南高校と佐伯鶴岡高校を発展的に統合し、建学の精神を「地域・社会全体に貢献度の高い学校づくりを推進し、地域産業、福祉を担う有為な人材を輩出する」として誕生いたしました。また、全国でも類のない4学科(農業科・工業科・福祉科・総合学科)を有する総合選択制の学校であります。開校以来、地域の方々に支えられながら、地域を学びの場とし、地域の農業・産業・福祉等、地域社会の持続的発展に貢献できる人の育成を目指して、様々な教育活動に取り組んでいます。			

3. 実施科目等

科 目 名	部活動(商業部)	単 位 数	
対 象 生 徒	3年生8名	担当教員数	1名

4. 予算関係(費用)

商品製造：連携企業負担
販売活動：部活動活動費

5. 開発経緯等

令和5年度より、SDGs（持続可能な開発目標）の「11. 住み続けられるまちづくりを」をテーマに、多くの地域で大きな課題でもある「食品ロス」について研究し、地域にある食材の中で多くのロスが生まれていることが判明しました。研究を進める過程で、ロスとなっている食材の1つに「未利用魚」とされる魚の存在を知り、ロスさせない取り組みを検討することとなりました。

私たちの取り組みに協力していただいている地元企業（株式会社山忠様・漁村女性グループめばる様）より、佐伯の海で水揚げされる「未利用魚」として、「ホシザメ」と「ソウダガツオ」を教えてくださいました。「ホシザメ」は、沿岸域で見られる小型のサメで、佐伯では、湯引きをして、酢味噌でほんの少し食べられている程度で、それ以外にはほとんど利用されていない魚。しかし、サメは原料として「はんぺん」や「さつま揚げ」など、練り物にも使われおり、実は新鮮だと臭いの無い魚です。「ソウダガツオ」は、世界中の温帯・熱帯域の沿岸域を回遊している魚です。「マガツオ」や「スマガツオ」などと比べると小さいため、刺身用などの鮮魚としては一般流通しません。しかし、高級カツオ節とされる宗田節の原料となる魚で、旨みの強い魚ですが、佐伯ではほんの少しの水揚げで、積極的に利用する水産加工会社がありません、ほとんど利用されない魚です。

この2つの「未利用魚」を活用できる取り組みを、株式会社山忠様、漁村女性グループめばる様と協議していく過程で、株式会社山忠様の主力商品の「ひじき」と、「ホシザメ」と「ソウダガツオ」を組み合わせた商品（ふりかけ）を開発することとなりました。商品完成までの詳しい経緯は、以下のWebページにまとめていますので、URLもしくはQRコードを参照していただき、是非、ご覧ください。

【商品誕生までのStory → URL】

<https://storymaps.arcgis.com/stories/f4a3b5dc320849e682fa9d75a545fc58>

【商品誕生までのStory → QR】



6. 販売形態・期間

有・
無

定期的な催事での販売。

7. 協力者等

有・
無

株式会社山忠 様
〒876-0811 大分県佐伯市鶴谷町1丁目4番30号 tel 0972-23-3344
漁村女性グループめばる 様
〒876-1203 大分県佐伯市鶴見大字沖松浦1384-2 tel 0972-33-0274

8. 商標登録の有無

有・
無

企業により検討。

9. 今後の課題・展望等

常設的な販売店の協力と積極的な県内外での催事販売およびインターネット販売。